令和２年（2020 年）5 月 25 日
豊中市立第十三中学校 学校だより

Team13

校訓「自主・創造・敬愛」

ホームページ URL　http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/jh13/

離任された教職員からのメッセージ

離任式が今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大予防のために実施できません。そこで、離任された皆さんから十三中生へのメッセージをお預かりしました。もし直接お話ししたことがなくても、みんなはお世話になっていたのです。例えば昼食時のお茶は用務員さんが用意されたものです。また、お兄ちゃんやお姉ちゃんがお世話になったということもあるかもしれません。十三中のみんなに向けたメッセージをしっかり受け止めてくださいね。

Ｏ・Ｋ　先生（教員・11 年間）　　※（）内は本校での在任年数です。

私は今の在校生の皆さんとは 13 中での関わりは少なかったですが、11 年間十三中に勤め、その間皆さんの先輩達ととても充実した楽しい毎日を過ごしました。そんな私が十三中を離れた今、伝えたいことが三つあります。

一つ目は、あいさつを大切にしてほしい、ということです。12 年前に初めて十三中の門をくぐった時、部活で来ていた生徒さん達が笑顔であいさつしてくれ、とてもあたたかい気持ちになったことを今でも覚えています。あいさつはコミュニケーションの第一歩といわれています。今後もたくさんの人たちと出会うことと思いますが、初対面の時だけでなく親しくなってからも、また毎日顔を合わせる身近な人ともまずあいさつを交わし合うことから始めてコミュニケーション力を向上させていってくださいね。

二つ目は友達を大切にし、できることなら卒業してからもずっとつながっていてほしい、ということです。話し合ったり、一緒に行事や学習などに取り組んだり、支えられたり支えたり、時にはけんかをしたりすることもあるかもしれませんが、お互いの気持ちをしっかり伝えあい、理解しあうことによって前よりも絆が深まっていったという人達をたくさん見てきました。

私自身の経験から言わせてもらうと、同年代の友達とはいくつになっても共通の話題、悩みなどで話も弾み、少々イヤなことがあっても立ち直って生きてこられました。歳を重ねるにつれて友達は本当にありがたいものだとつくづく感じています。内気な性格で自分から話しかけられない、自分に自信がないから積極的になれない、という人もいるかもしれませんが気持ちがあれば伝わるし、人って意外と変われるものなので（4 月当初は誰ともしゃべっていなかった人が 3 月には大きな声で友達と楽しそうに笑いながら話をしている人がいましたヨ。）心配せずに自分のペースで自分のできそうなことを一生懸命がんばってみればまわりの人はよく見てくれていて、何かの時には支えてくれる人は必ずいますよ。お互いに支えあって強い絆を作って下さいね。

三つめは、今世の中は経済・働き方・生活などいろんな面で変化を迎えていますが、今、世の中で起きていることをしっかり観察してほしいということです。外出できない、学校に

行けない、部活したくてもできない、などなどマイナス面も多くてストレスもたまるでしょうが、今の経験は貴重でいい勉強になり、今後の皆さんの生き方に役立つことと思います。一人ではどうにもならないと思われるようなことでも、友達やまわりにいる大人の人達と一緒に乗り切り、充実した学校生活を送ってくださいネ。

最後に一つだけ心残りがあります。それは卓球部の生徒さん達と学年末から春休みにかけての部活ができなかったことです。もう、一緒に体育館で君達と卓球をしたり過ごすことはできないと思いますが、これからもいつもどおり明るく元気に仲良く卓球の練習を頑張ってくださいね。それではみなさんお元気で。

Ｓ・Ｈ　先生（教員・６年間）

十三中に着任したその日、緊張していた私を「おはようございます」「よろしくおねがいします」と大きな挨拶と笑顔でむかえてくれたあの瞬間を今でも覚えています。十三中で過ごした何気ない日常や、去年の体育大会の青団のソーラン節、剣道部のみんなと過ごした日々など、すべて素敵な思い出です。みなさんとの出会い、ともに学んだ時間に感謝して進んでいきます。本当にありがとうございました。

みなさんがこれまで大切にしてきた「あいさつ・授業を大切にする姿勢」を続け、十三中をより良い学校にしてください。みなさんのさらなる飛躍を期待しています。

剣道部のみなさん。楽しかったで！お互いに成長した姿でまた会おう！

Ｍ・Ｒ　先生（教員・３年間）

十三中のみなさん、おひさしぶりです。新型コロナウイルスの影響で臨時休校になってしまい、そのままお別れの言葉を言えずに転勤になってしまったことがとても残念です。そのため、この場をかりて十三中生のみなさんへ最後のメッセージを送りたいと思います。

十三中生と出会ったときに「あいさつがしっかりできる」ところや「言葉遣いが丁寧」な所など数えきれないくらいの良いところがあるなと思いました。しかし、毎日を共にすごしていくなかで、新しいことに挑戦することには、すごく消極的だと感じていました。もっともっと十三中生が輝くために、新しいことに挑戦してほしいなと思います。新しいことに挑戦しなければ、間違うことも失敗をすることも経験せずに済みます。しかし、「失敗しない」ことを第一に過ごしているだけでは、進歩も新しい発見も生み出せないのではないでしょうか。みなさんがさらに成長していくためにも、たくさんの経験をして、その中からたくさんのことを学んで、色々な角度から物事を考え、試行錯誤しながら行動していくことが大切です。また、挑戦しようとしている人を支えてあげられる人にもなってほしいです。失敗してもみなさんのまわりには、どんなときでも支えてくれる仲間や十三中の先生たちがいます。ぜひ、新しいことにチャレンジして、さらに成長していくことを期待しています。

最後に男子バスケットボール部のみなさんへ、みなさんと出会えたこと、バスケットボールを一緒にできたことを本当に感謝しています。ありがとう。先生が悩んでいるときにみなさんの顔をみるだけで元気をもらっていました。先生も新しい場所で一生懸命頑張ります。みなさんも新しい環境の中で“感謝の気持ちを忘れず”に健康に気をつけながら、日々の学校生活や練習を頑張ってください。

またどこかで君たちの成長した姿を見られることを楽しみにしています。

K・M　先生（教員・２年間）

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。２年生、３年生のみなさん進級おめでとうございます。４月の離任式で、みなさんの前で挨拶をするはずでしたが、緊急事態宣言延長の為、本当に残念ですが、文面での挨拶となりました。私はこの４月から大阪府立豊中支援学校の小学部(小学校)で勤務しています。今回、私は初めての小学校勤務で、慣れないことも多く、新学期の準備や授業準備など、一日があっという間に過ぎていく日々を過ごしています。13 中のみなさんも、週２回の登校がようやくスタートし、これから待ちに待った学校生活が始まりますね。今のこの大変な時期だからこそ、夢や希望を持ち、一日一日を無駄にせず、大切に過ごしてほしいと思います。自分の夢や希望があれば、前向きに頑張れると思います。まだ夢や希望が無いという人は、小さな目標でも構いません。夢や希望、目標を持って、今できる最大限の努力をしてほしいと思います。これからの長い人生、楽しい時もあれば、辛く、苦しい時も沢山あると思います。今回の新型コロナウィルスのような予想できない試練に遭遇するかもしれません。そんな時、自分の夢や希望、目標があれば、乗り越えられる力となるはずです。きっとあなたの背中を押してくれる力となるはずです。13 中のみなさんの夢や希望が叶い、これからの人生がより素晴らしいものになることを、心から願っています。でも決して忘れないで下さい！その夢や希望を現実のものにするのは、みなさん自身です！

２年間本当にありがとうございました。また会える日を楽しみにしています。

U・M　先生（教員・１年間）

みなさん、元気に過ごしていますか？

１年生のみなさんは入学おめでとうございます。２，３年生のみなさんは進級おめでとうございます。

今年は離任式が中止になってしまったので、最後のあいさつがこのような形になってしまったことをとても残念に思っています。

学年が上がったみなさんを近くで見守りながら、成長した姿が見られることを楽しみにしていましたができなくなってしまいました。

この１３中での毎日を思い返してみると、すてきな経験をたくさんさせてもらいました。これからもっと先生として頑張ろう！と刺激をもらう出来事がたくさんありました。この経験は先生の宝物です。ありがとうございました。

先生がこの場をかりてみなさんに一番に伝えたいこと。それは、中学生活の中でこれはだれにも負けないくらいすごく頑張ったという経験を１つでもつくってほしいということです。この話はよく新２年生のみなさんに伝えていたので、先生から聞いたことがある人もいるかもしれません。何かを頑張るということは、頑張っている中で挑戦したり、考えたり、自分と向き合ったり、様々な経験をすると思います。そして、この経験は、その後の自分を支えてくれます。先生自身も、これまでの経験が今の自分を支えてくれています。中学校を卒業するときに、これは頑張った！と言えるように、悔いのない毎日を送ってほしいなと思います。みなさんが中学校生活を元気で過ごせることを願っています。

M・Y　先生（教員・１年間）

支援学級を担当していた松井です。１年間のみでしたが、この十三中でみんなと過ごして

きて楽しかったです。思えばあっという間の１年間だったと思います。今私は十五中で新たに気持ちを引き締めて頑張っています。

今は新型コロナウイルスという見えない敵に学校、日常生活を奪われてしまい大変な状況にあります。そのため直接顔向けできずメッセージを伝えるのは残念に他なりません。前のようにたくさんの友達と学校生活をともに送ることがいつになるかわかりませんが、体調管理をして元気な姿でいてほしいと思います。

最後に、１年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。小学校とは違うことが出てきて不安に思うこともあると思いますが、頼りになる先輩がいます。友達と助け合いながら先輩の良き姿を見て吸収し、楽しい中学校生活を送ってください。

２年生のみなさん、１年生とは違い、やることが増え、辛いと思う時もあると思いますが、我慢して負けず立ち向かってほしいです。その分、行事は１年生の時よりもさらに楽しいので文武両道で頑張ってください。また、みなさんには後輩ができます。１年生に見本となる姿を見せてあげてほしいです。

そして、３年生のみなさんは最高学年になります。進路が中心となるふんばりどころの１年になると思いますが、適度に息抜きを行事でして最後の中学校生活を後悔なく過ごしてほしいです。

Ｓ・Ｍ　先生（教員・１年間）

本当に短い間でしたが、みなさんと過ごした毎日は楽しかったです 😊
ありがとうございました ✨

Ｔ・Ｙ　先生（教員・１年間）

みなさんお元気ですか？私は、元気に生活しています。新型コロナウイルスに負けずに学校生活を送ってください。また、会えるときを楽しみに頑張って生活していきましょう！

Ｓ・Ｍ　さん（介助員・１年間）

『みなさんと過ごした１年余り、毎朝教室の前で「おはようございます」の元気な挨拶で、１日を笑顔で楽しく過ごすことができました。
また会える日には、みなさん顔をほころばせて、にっこり笑い合いましょう。
ありがとうございました。』

Ａ・Ｋ　さん（用務員・１年間）

十三中で１年間でしたが、いろいろお世話になりました。ありがとうございました。

Ｔ・Ｒ　さん（用務員・１年間）

入学・進級おめでとうございます。
昨年の４月に上野小学校から赴任して、用務の仕事を一年間させて頂きました。
直接生徒の皆さんとの関わりは少なかったのですが、皆さんから校庭や廊下で会った時にいつも挨拶や声をかけて頂いたので、私も元気をもらうことができ頑張って仕事をしようという気持ちになりました。
そんな風にさりげない言葉が言える人は素晴らしいです。
その様な生徒さんが沢山いる十三中で働くことができて嬉しかったです。
ありがとうございました！